



南太秦だより

令和元年度前期学校評価結果

令和元年度前期学校評価結果 臨時号

京都市立南太秦小学校

校長 上田 清乃

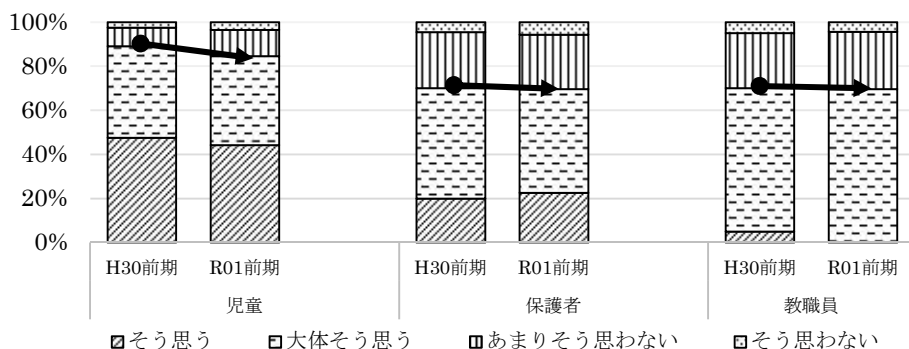
「南太秦小学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。アンケート項目を『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』の3つにまとめ、それぞれについて前年度の前期の結果との比較を行い、見えてきた課題や気づいた点などをまとめています。

【アンケート回答率】児 童：99% 保護者：94% 教職員：100%

確かな学力

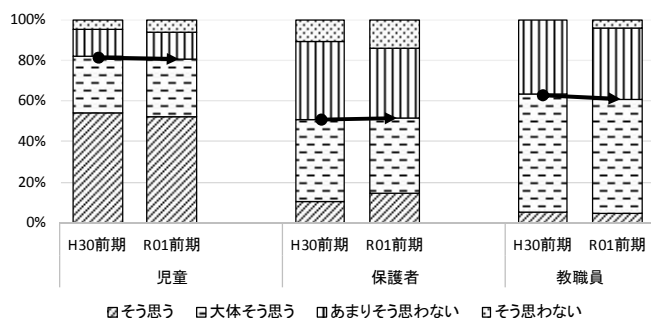
学ぶ意欲があり、進んで学習する子

基礎学力が身に付いている（漢字の読み書き・計算ができています）

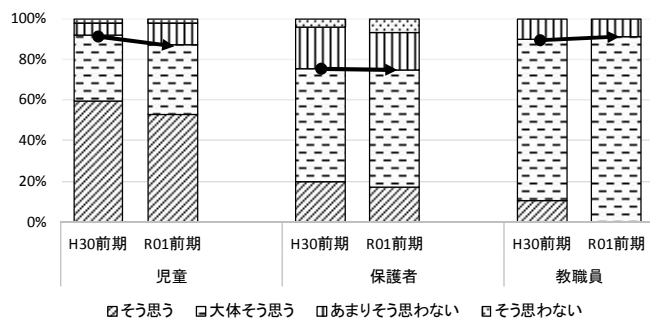


「漢字の読み書き・計算ができています。」の項目について、児童の自己評価が前年度の前期より5pほど下がっています。また、児童の自己評価と保護者・教職員の評価に15p程度の差がみられました。

家での宿題・学習はしっかりやっている(自分から進んで)



学校の勉強はよくわかっている



『家庭学習を進んで行っている』の項目において、児童の約80%が肯定的な回答しているのに対し、保護者の半数近くが「あまりそう思わない」「そう思わない」との回答となっています。

基礎学力の定着と学力向上にむけて

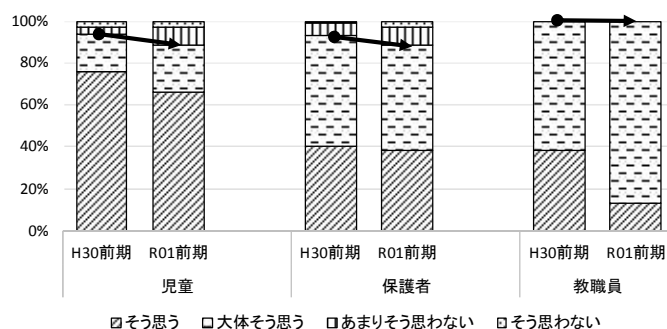
基礎学力定着の評価が児童・保護者・教職員の三者ともに2年前の調査より連続して下がっており、「よりいっそうの基礎学力の定着」と「さらなる学力向上」を本校の大きな課題として捉えています。今年度より「学力向上チーム」を組織し、全国学力・学習状況調査や全市研究会テスト等の結果の分析、朝学習や清掃後の昼学習の内容の改善などを行い、学力向上へ向けて取り組みを進めているところです。また、新学習指導要領実施に伴う授業時数の増加により、限られた時間の中で効率よくかつ効果的に学習内容の理解が深められるように「授業改善」や「教科横断的な視点で学習を進める」ためのカリキュラムマネジメントの確立が求められています。本校でも木曜6校時を設定したり、学校行事の時期や内容の見直しをしたりしているところですが、基礎学力定着のための日々の時間確保が難しい現状にあります。放課後の補習時間の確保なども視野に入れ、部活動のあり方についての検討や学校行事の内容の見直しを進めていきます。

また、家庭学習を進んで行うことについては、児童と保護者・教職員の認識にギャップが少しある様子です。大人としては「言われなくてもやって欲しい」「取り組む時間を増やしてほしい」と感じるところがあるのかもしれませんが、各ご家庭で生活スタイルが違うので家庭学習の時間の取り方が様々だと思いますが、開始時間や学習時間を話し合って決め、一定時間集中して机に向かうといった習慣をつけていきたいところです。年度当初に配布しました各学年の「家庭学習の手引き」を参考にいただき、今後も学校と家庭の連携をしっかりと取りながら、家庭学習の習慣づけを進めていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

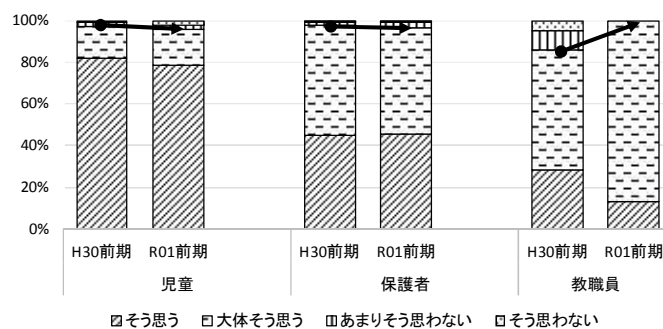
京都市教育委員会のホームページに、今年度の全国学力・学習状況調査の「京都市の調査結果」が公表されております。

URL <https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000257347.html>

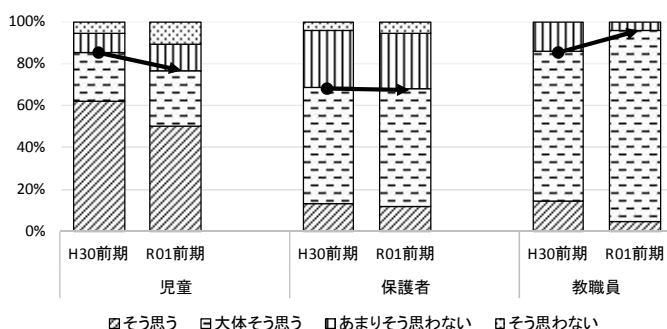
学校は楽しい



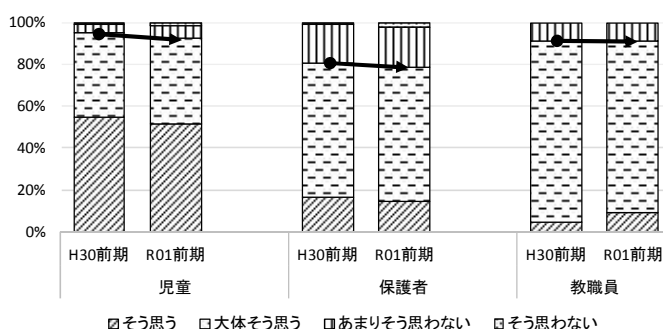
仲間はずれにせず、仲良く遊んでいる



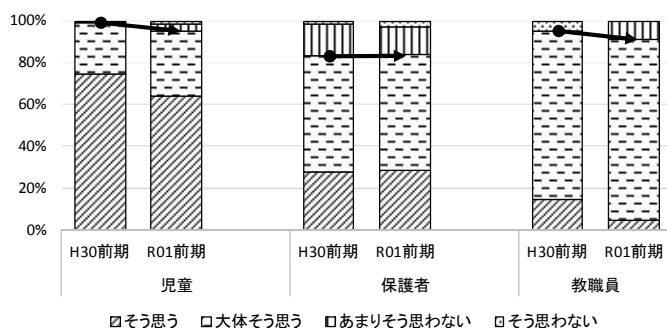
困った時に教職員に相談している



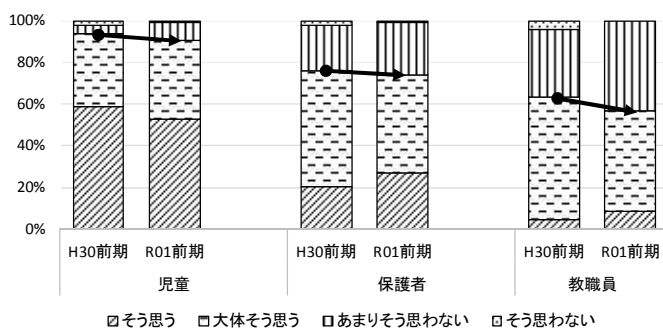
思いやりのある話し方ができている



きまりや約束を守っている



進んであいさつをしている

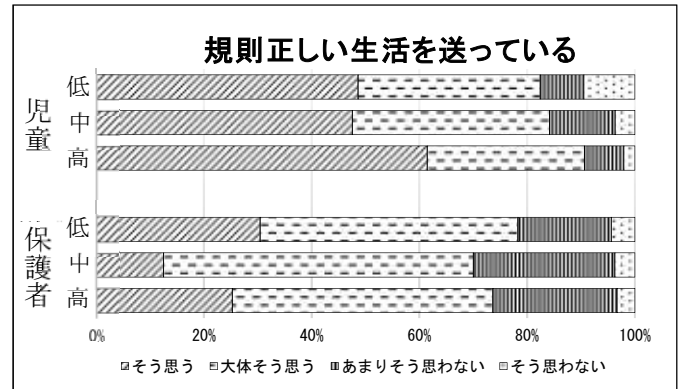
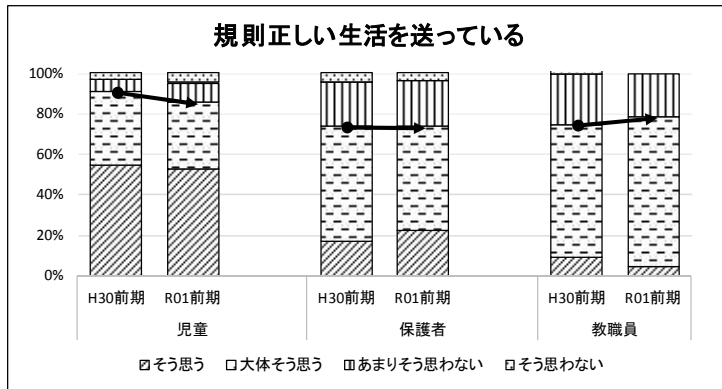


全体的に見て大きな変化はありませんが、ほとんどの項目において児童の肯定的な評価が高い結果となりました。

『学校は楽しい』の項目において、児童・保護者ともに前年度より5%程ではありますが下がっています。児童の肯定的な回答の割合は88%となっていますが、9%が「あまりそう思わない」、3%が「そう思わない」と回答していることにも目を向け、子どもたちにとって「学ぶこと」「他者との関わり」等において学校が魅力的な場所となるよう努力していきたいと考えています。

『困った時に教職員に相談している』の項目について、児童の肯定的な評価が7割台に下がっていることが気になります。この回答には、「困っていることがないので相談していない」というものも含まれていますが、児童アンケート実施後、気になる回答については必ず担任による聞き取りを行い、早期的な問題解決に努めています。ご家庭でもお子様から気になることを聞かれた場合は、学校までご相談ください。

『進んであいさつをしている』については、児童と保護者・教職員との評価に大きな差があるようです。多くの子どもたちが挨拶を心がけて挨拶をしているものの、声が小さくて相手に届いていないということがあるのかも知れません。「相手に伝えることを意識した声の出し方」を学習場面でも指導しながら、さらに子どもたちの元気な挨拶があふれる学校を目指していきたいと思っています。



児童自身の84%ができていると考えていることに対し、保護者・教職員は69%ができていると回答しています。学年が上がるほど「できている」と答えている児童が多く、中学年・高学年において、児童と保護者の認識の差が大きくなっています。

南太秦小学校 推奨就寝時刻

低学年 9:00
中学年 9:30
高学年 10:00

昨年度の調査結果と同じように、学齢が上がるにつれて児童と保護者の評価の差が大きくなる傾向がありました。大人の考える早寝早起きの時刻と子どもたちの考える時刻とにずれがあるのではないかと思います。

長期休業後に学校で行っている「生活リズム調査」によると、本校推奨の就寝時刻より遅く寝ている児童が半数近くいるという結果が見られ、特に6年生では10時から11時までに就寝している児童が38%、11時以降の就寝が17%と、一部の児童に遅くまで起きている様子がうかがえます。テレビや動画サイトの視聴、ポータブルゲームなどをすることで、就寝時間が遅くなっているのではないのでしょうか。特に、放映時間が決まっているテレビ番組と違って、インターネットの動画サイトや、スマホ・タブレット・携帯ゲーム機でのゲームは、時間を忘れて際限なく熱中してしまいがちです。**「やる前に時間を決める」「時間が来たら、途中で止めさせる」「スマホ・タブレットの使用はリビングだけ」「寝室に持ち込むことを禁止する」**など、家庭でのルールをしっかりと決めることが大切です。どうぞご家庭で再度話し合う機会を持っていただき、就寝時刻について今一度見直してみてください。

自由記述より（一部抜粋）

- ◎通学路に立つ機会があり感じたことは、子どもたちの方から挨拶することが少ない、また、挨拶をする時に目を見ていない子が多いことです。挨拶しても見向きもせず素通りして行く子もいることに驚きました。もちろん元気に挨拶してくる子やちょっとしたことを話しかけてくれる子もいて、嬉しい気持ちになります。もっとそんな元気な子が増えていったらいいと思います。
- ◎毎日、とても楽しく学校へ通っています。このような環境を作って頂き嬉しく思っております。いつもありがとうございます。
- ◎先生のみならず、親にもあまり困ったことを話しません。幼少から、浮かない表情をしていると「何かあった？」とこちらが先に声をかけていたので、自分から言うことが少なくなっていました。聞けば答えてくれます。

たくさんのご意見をありがとうございました。学校評価は学校運営の組織的・継続的な改善、保護者・地域等の参画による開かれた学校づくり、教育活動の質的向上等を目的に、学校・家庭・地域が相互に高め合う「京都市方式」で実施しています。今回の保護者アンケートの回収率は約94%と非常に高く、保護者の皆様の子どもたち・学校教育への関心の高さがうかがえます。自由記述によるご意見も、今回本紙に掲載させて頂いた以外にもいくつかいただいております。保護者・学校運営協議会の皆様からいただいたご意見を校内でも共有し、引き続き改善を進めていきたいと思っております。今後も家庭・地域との連携を大切にしながら、子どもたちが南太秦小学校で過ごす日々が、より一層充実したものとなるよう、全教職員で取り組んでいきたいと思っております。より一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校運営協議会理事の皆様より（一部抜粋）

「確かな学力」について

- ◆ 3つの設問に対する3者の回答には多少ずれがありますが、基礎学力と学校の勉強関係で児童と教職員の回答がかなり違うように思います。学校の勉強に集中し理解していれば基礎学力もおのずからついてくると思います。
- ◆ アンケートの結果を見ると、「基礎学力」と「学校の勉強」で、教職員の「そう思う」の回答がゼロになったことから、やはり全体的に学力が低下傾向なのかなと思いました。
- ◆ 学力向上に向けての様々な取組については良いことだと思いますが、新学習指導要領実施に伴う授業数の増加などもあり、児童は窮屈にならないでしょうか。ゆとり教育の反対で詰め込み教育になっている気がします。余計に家庭学習まで集中力が持たないのではないかと思います。学校では授業方法、勉強方法など工夫していただき、児童が飽きない、面白い学習をお願いしたいです。
- ◆ ほとんどのご家庭が共働きで日々多忙な事はよくわかりますが、児童の家庭学習が疎かになっているのではないのでしょうか。もう少し温かい眼差しで接していただきたいと思います。

「豊かな心」について

- ◆ どの項目を見ても友達や仲間と楽しい学校生活を送っている様、あまり心配事や悩み事も無く結構な事だと思います。しかし、挨拶については声が小さく元気が無いように思います。家庭において保護者や兄弟に挨拶をしているのでしょうか。
- ◆ 朝、出掛けに叱ることは良くありません。少しくつむいて、暗い表情で登校する児童を見かけます。学習も大切ですが、日頃からご家庭でコミュニケーションをとられているのか気になるところです。

「健やかな体」について

- ◆ 学年が上がるにつれて就寝時間が少し遅くなることは致し方ないことではあるが、年齢に応じた必要な睡眠時間があると思うので、家庭でしっかり管理していただく必要があると思います。
- ◆ スマホ・タブレットについては、各家庭の意識によるところが大きいので、折に触れ学校からも保護者へ寝不足による影響やスマホ・タブレットによる身体的影響などについて発信していただければと思いました。
- ◆ 大人（保護者・教職員）と児童の評価の差が出るのは仕方ないところだと思います。テレビやネット動画など“夜更かしの誘惑”が多くなっている事の結果だと思いますが、これは保護者の責任で管理いただきたいですね。

＜アンケートへのご協力・ご意見ありがとうございました。今後の教育活動に生かさせていただきます。＞